

ともえ



繁栄を
あなたと育てる
商工会議所



函館八幡宮(社殿)

No. 136

函館商工会議所報
1992——11月号

はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。

みなさまの



函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本店	函館市豊川町15番20号	TEL22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL51-1711(代)
ぼんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL52-0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL84-2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL53-5521(代)			

Lhくみカードローン

20万円から200万円まで

使い方自由

らくらく返済

担保・保証人不要

★詳しくは窓口へ
お問い合わせ下さい。



函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎(代)23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572(代)
- 上磯支店 ☎73-2308(代)
- 美原支店 ☎46-9121(代)
- 十字街支店 ☎26-5544(代)
- 花園支店 ☎55-2110(代)
- 富岡支店 ☎43-1311(代)

今月の表紙／視点……………1
 会議所の動き……………2～6

- ・函館・鹿児島商工会議所姉妹盟約締結式
- ・六部会幹事会、観光サービズ幹事会開催
- ・全道商工会議所専務・局長会議開催
- ・マレーシア国マハティール首相来函
- ・中国国際商会天津商会一行が表敬訪問
- ・地方拠点都市指定地域に函館地域を陳情
- ・新幹線フォーラム開催

- ・函館日米協会講演会開催
- ・みなみ北海道広域連絡協開催
- ・企業誘致シンポジウム開催

P・Rコーナー……………8
 調査レポート……………11

- ・地域の景気 金融経済概況 九月
- ・市内第一種大規模小売店舗売上高 九月
- ・函館地域の経済動向 平成四年年度 第2四半期

- 誌 上 講 演……………13
- ・経営者のガン予防 (8)
- ・人の使い方

- 共済推進コーナー……………14
- ・暮らしのワンポイント
- ・さわやか君
- ・有段を目指して 詰碁・詰将棋

- アドバイスコナー……………17
- ・借地・借家法の基礎知識 (3)
- Q & A……………18～19
- ・みんなの相談室 視務相談 労務相談
- ご 案 内……………20
- ・新会員紹介／道制度融資利用案内
- ・ご利用を！冬期宿泊施設割引優待券
- ・中小公庫からのお知らせ

- ・統報 函館市の灯油・ガソリン価格動向
- ・ご利用下さい！本所の個別専門相談

◇今月の表紙
 函館八幡宮(社殿)
 享徳三年(一四五四年)、津軽の豪族河野政通が、ウスケシシ(現在の市立函館病院上)に館を築き、この館の東西の隅に建てたのが函館八幡宮の始まりとされ、一時、赤川村に移ったが、慶安年間(一六四八～一六五一年)に再び元の場所に戻り、文化元年(一八〇四年)には、幕府の東蝦夷地直轄に伴う蝦夷奉行設置の為に、八幡坂上(現在の函館西高校)に移転した。その後、明治十一年(一八七八年)、同十二年と相次いで大火の為に焼失し、同十三年に現在の地(谷地頭町)に移転した。
 現在の社殿は、大正二年(一九一三年)に起工し、同七年完工したもので、鎌倉時代に発達した聖造りを加味し、新様式も取り入れた八幡造りであり、優雅で壮麗な建物は、毎年、正月の初詣に、市内で最も賑わいをみせている。

視 点

平成四年もあと一月余りを残すのみとなりました。今年夏は涼しく、あまり良好な気象条件でもなかったようですが、農作物は何とか平年作近くを確保することができ、また漁業では、何と云ってもスルメイカの豊漁が、イカサシなど、大いにグルメ函館の宣伝に寄与しました。ただ経済界全体としてみますと、昨年に引続く設備投資の減少や、個人消費の増勢鈍化などから、最終需要の減速過程がなお続いており、在庫調整のための生産抑制も進められ、企業として、一段と厳しい状況におかれていることには変わりはありません。緊急対策としての大型補正予算による早急な公共事業が、一日も早く実施されるよう希望するものです。

このような状況のもとで当市においては、特色ある行事が幾つか実施されました。その中でも市制施行七十周年ということで行われた、外国都市との姉妹提携を中心とした国際交流の拡大が最大のものであるといえます。提携十周年を迎えたハリファックス市、新しく提携したウラジオストク市、レークマコーリ市、そしてシンガポール市との交流も深められる中で、十月十六日にはマレーシア国のマハティール首相一行も来函、本所主催の晩餐会も行われました。このように国際観光立市を目指す本市にとっては、本当に目覚ましい交流の実績があげられ、正に交流元年とも言える年でした。この国際交流の芽を育て、やがて花が咲き実を結ぶ迄、努力を重ねていきたいと思います。



会 議 所 の 動 き

函館・鹿児島商工会議所 姉妹盟約締結式挙行

姉妹盟約締結式挙行

鹿児島商工会議所と函館商工会議所は、互いの変わらぬ友好を誓うと共に、将来の飛躍的發展をめざし、姉妹商工会議所として盟約を締結することとなり、去る十月八日、鹿児島文化センターにおいて締結式が挙行されました。

「姉妹盟約締結式」は、鹿児島商工会議所創立百十周年記念式典の席上、関係者千四百余名が出席するなかで、本所若林会頭をはじめ

め副会頭、議員など十名が出席し実施されました。

締結式では初めに、函館の観光や産業などを紹介するビデオを観賞した後、鹿児島商工会議所岩崎福三会頭から「函館・鹿児島両市とも、史跡、景観など豊かな観光資源を持ち、共に、港湾の開発計画を進めているなど共通点が多い。両市の活性化、発展につながる交流を進めていきたい」との挨拶がなされ、本所若林会頭との間で姉妹盟約書が交換されました。

引き続き、本所若林会頭から「両市とも、古い歴史と共に豊かな観光資源を活かした街づくりが進められ、国際観光都市として発展しているなど共通点も多い。本日の姉妹提携を機に、相互理解と友好親善を基調に文化、観光、経済等広い分野にわたり積極的な交流を図り、両地域の発展を更に推進していきたい」との挨拶がなされ、

両市の新しい交流の幕開けが始まりました。
今年、十一月十日から鹿児島山形屋で開催の「北海道の物産と観光展」（二十三日まで）で、姉妹商工会議所盟約の締結を記念して、ミス函館より来場先着五百名の方へ記念品を差上げ、鹿児島市民に対し、両商工会議所の姉妹提携をアピールするとともに、同展の盛り上げに寄与することができました。

姉妹盟約書

函館商工会議所と鹿児島商工会議所とは
経済の交流を通じ、相互理解と友好親善を
深め、もって両地域の振興発展に貢献する
こととし、ここに姉妹商工会議所盟約を
締結する

平成四年十月八日

函館商工会議所

会頭 若林 利次

鹿児島商工会議所

会頭 岩崎 福三

▼挨拶をする本所若林会頭



披露会頭若林会
所若林会頭
と鹿児島
姉妹盟約書
を本所若
林会頭と

アクアコミュニティ構想を協議 観光サービス部会幹事会開催

平成四年度第一回観光サービス部会幹事会が、去る十月二十六日、本所会議室で開催されました。

会議では、まず始めに部会運営規約の改正に伴う幹事委嘱の経過について河内部会長から説明があり、続いて函館アクアコミュニティ構想協議会で協議された「函館アクアコミュニティ構想基本計画(案)」並びに事業化可能性調査報告」について、函館市の平原商工観光部長より説明がなされました。事業化可能性調査は、基本計画案が採算面からみて、事業として適当か否かについて精査・評価を行い、さらに適正規模について検討・調査したものです。報告書では、来場者は略構想通りの年間百十六万人が見込まれるものの、現行の計画(事業費百五十億円)では採算がとれない可能性が高く、事業化を可能とするには、魅力を損なわず事業費を縮小(百二十億

円程度)することを提言しております。

説明後、出席者から活発な質疑・意見が出されましたが、第三セ

テクノ基金や市の財政状況等を研究 六部会合同幹事会開催

本所六部会の合同幹事会が、去る十月二十一日若林会頭始め議員、幹事四十五名出席のもとに、本所会議室で開催されました。

この合同幹事会(今回の主管は理財部会)ではまず、「第二期テクノポリス函館開発計画」の主要事項について、(財)テクノポリス函館技術振興協会の沼田専務理事より説明がなされ、これに伴う基金積み増し分六億円の内、経済界負担分一億七千四百万円について、各企業の絶大なる支援、協力方の

クターの中核となる企業が定まっておらず、今後は早く事業主体となる企業を選定し、その企業を中心に今回の調査結果を基に構想を見直し、百二十億の事業費で魅力を増やすことのない計画を策定できるかが、重要な点ではないかと思われまふ。

要請がなされました。

これに引き続いて、昨今の厳しい経済情勢のもとで、財政健全化に向けて、日夜努力を重ねている函館市役所より、市の歳入を担当の吉田理財部長と、市財政担当の松谷財政課長を初めてお招きして、それぞれ市の歳入と財政状況について詳しい説明をお願いし、その結果、他都市に較べてまだまだ努力が必要であることなど、出席者全員が認識を新たにしました。

全道専務・局長会議開催

全道商工会議所専務理事・事務局長会議が、去る十月六日室蘭市で四十六名(本所より平野専務理事)出席のもとに開催されました。会議では、まずかねてより検討を進めてきた会費改正問題について、会費問題検討会が開かれ、小委員会(委員長本所専務)で作成された原案について報告があり、検討会ではこの原案を満場一致で承認の後、専務局長会議に上程され、色々意見はありましたが、原案どおり明年度からの改定が決定しました。

次に、今年六月の全道商工会議所大会並びに九月の北海道・東北商工会議所連絡会議で決議された陳情・要望事項の処理等について報告がなされた後、日本商工会議所の藤波部長より明年度予算に対する要望事項についての説明がありました。その中で特に経営改善普及事業に対する補助金については、普通交付税として順次切替えていく旨の説明がなされ、大きな問題として注目していくことになりました。



▲ 歓迎晩餐会で乾杯する若林会頭

マレーシア国マハティール首相来函 本所主催歓迎晩餐会開催

去る十月十六日より三日間の日程で、マレーシア国マハティール首相一行が当市を訪問しました。首相夫妻はじめ、カティブ駐日大使夫妻、鈴木マレーシア日本人商工会議所会頭夫妻ら一行十五人は、同日夕刻函館入りされ、函館山からの夜景を楽しまれた後、五島軒本店において開催された本

所主催の歓迎晩餐会に、主賓としてご出席になりました。この晩餐会には、地元より本所若林会頭夫妻はじめ丹藤市助役、本間市議会議長、近藤渡島支庁長各

夫妻ら経済界を中心に四十七名の方が出席、二時間あまりにわたってなごやかに歓談が行われました。翌十七日には、函館朝市を視察、その後市内の水産加工場二社を訪問、イカの加工技術等について説明を受けられたあと、午後はエキゾチックな街並みの西部地区など市内の主要な観光地を巡り、十八日に離函されました。

地方拠点都市指定地域に 函館地域を陳情

本年五月制定された地方拠点都市地域整備法(略称)は、地方交付税による行財政の支援や予算の重点配分などにより、成長が見込まれる地方都市の整備に寄与することとしております。

当地域でも、函館市を母都市に上磯町・大野町・七飯町のいわゆる一市三町を函館圏として、去る十月二十八日と十一月五日の二回に亘り、行政・議会及び経済界の代表者が、道に対して函館地域を指定するよう強力に陳情しました。

道内では、指定地域に立候補している地域は、七地域あるとのことですが、道では、今年度については函館地域、帯広地域、千歳地域の三地域を中心に検討した結果、事業熟度が高く、JRの高架化などの事業着手に伴い、都市開発事業などが進められている帯広地域を第一候補として国と協議することになり、函館、千歳両地域については、平成五年度の早い時期に予想される追加指定へ向け、国と協議を進めることになっています。

中国国際商会 天津商會 本所を表敬訪問

中国において日本の商工会議所に当たる中国国際商会天津商會の候毅剛会長を団長とする訪問団一行(総勢六名)が、去る十月二十七日、本所を表敬訪問、小笠原・沼崎両副会頭と懇談を行いました。訪問団一行は、十一月一日から青森市で開催された物産展に出展のため来日したのに併せ、かねてから交流を図ってきた函館中国経済促進協会の招きにより、来函が実現したもので、当日の懇談会では、候会長から当市との経済交流拡大に向けた強い意欲が示され、今後、両市の経済交流を一層進展させていくことを確認し合うなど、終始和やかな雰囲気の中で懇談を終了しました。

明年の見直しに向け

新幹線フォーラム開催

政府、自由民主党で昭和六十三年に合意をみた整備新幹線の取扱いが、明年度見直しされることもあり、北海道新幹線の着工を関係方面に強く要望してきましたが、この程「新幹線早期実現への展望」と題したフォーラムが去る十月二十七日、駅前拓銀ビル八階ホールで開催されました。

当日は、佐藤北大教授の基調講演に続き、黒野運輸省鉄道局長、田中青森商工会議所副会頭をして若林本所会頭によるパネルディスカッションが行われました。



この中で黒野次長からは、厳しい国の財政事情等について発言がありました。若林会頭はじめ他

のパネリストからは「四全総では、国土の均衡ある発展が理念として明確に示されており、整備五新幹線の建設は、それを実現するための基幹事業として重要な役割を担っており、日本列島の背骨として、早期に着工し竣工させなければならぬ。また、新幹線規格で既に

米国大統領選を解説

函館日米協会講演会開催

去る十月二十八日、本所と函館日米協会主催による講演会が、函館ハーバービューホテルで開催されました。

今回の講演会は、十一月三日の米大統領選挙を控え、「アメリカ大統領選挙の行方とその後の日米関係」と題し、米国の広告代理店社長で、広報活動を中心に政財界にも強い情報網を持つキャスリン・リアリー女史を招いて行われ

完成している青函トンネルを有効活用するためにも、青函同時開業は早急に実現させなければならぬ」など、まず北海道新幹線の函館迄の建設について、積極的な意見が出されました。

また、地域としての考え方を早急に取りまとめ、より強力な陳情を関係方面に行うべきであるなど、会場からの意見も交え熱心な討議が行われました。

ました。

講演では、米国内の少数民族が民主党のクリントン候補支持を明確に表示していることを紹介、同候補が優位に立っており、このまま推移すれば、当選することはほぼ間違いないと予測しました。

また、日米関係については、同候補が大統領になっても、これまでの日米関係を急速に変えることはないという見解が示されました。

70年の伝統と信用を誇る

早川特許事務所

特許、実用新案、意匠、商標、権利侵害

所長 弁理士 早川 政 名

〒112 東京都文京区白山5-14-7 早川ビル 電話 (03) 3946-0531 <代表>

〈発明相談〉 1月20日水曜日、午前10時から午後5時まで、函館商工会議所で相談をお受けいたします。相談は予約制になっておりますので、商工会議所相談課(23-1181内線63番)にお申込み下さい。

みなみ北海道 広域連絡協開催

南北北海道地域全体の経済活性化を目的に、渡島・松山地区の二商工会議所、二十七商工会で構成される「みなみ北海道広域商工振興連絡協議会」(会長 本所若林会頭)の平成四年度第二回総会が、去る十月二十九日、上磯町の函館スパビーチ会議室において開催されました。



当日は、各商工会長ら二十九名が出席し、まず、新幹線や高速自動車道など高速交通網の整備が遅れている北海道にとって、地方航空路の整備促進は、大きな課題であるという見地から、丘珠空港の早期整備について審議され、その結果十一

月六日に協議会として北海道及び札幌市に陳情することが決定しました。続いて、より円滑な事業運営を図るため、現行規約の一部改正について審議が行われ、原案通り承認されました。

議事終了後は、上磯町企画調整

企業誘致シンポジウム開催

ヒューマン・テクノ・ハイモニ
ーみなみ北海道シンポジウムが、去る十月十五日函館ハービービュールホテルで開催されました。

主催は(財)北海道地域総合振興機構(はまなす財団)で、全道各地の企業誘致促進事業の一環として今年が当市で開催したものです。

当日はまず、基調講演会で「国際化と中小企業」と題して、通産省立地公害局橋本立地指導課長から、日米貿易摩擦など多少のトラブルはあっても経済関係は維持されており、わが国中小企業の果たしている役割には大きなものがある

課長小野建夫氏から「上磯町の総合計画と企業誘致について」と題して講話が行なわれ、引き続き隣接のホテル海王館で懇親会が開催されました。

また、十一月六日には総会席上決定したとおり、若林会長を団長に一行四名が、北海道及び札幌市へ陳情を実施し、丘珠空港拡張活用の早期実現を要望しました。

企業誘致シンポジウム開催

るとの講演があった後、当圏域の産業活動とテクノポリス構想について、パネルディスカッションが行われ、パネラーとして出席した若林会頭より、本構想は地域企業の技術高度化と新規企業の立地促進の二本柱で、これまで官民あげて推進してきた。今後さらに地域の魅力づくりを高める第二期開発計画の推進にあたり、会議所も一層努力を重ねていく旨の発言がなされました。また、他のパネラーからも今後共、地域の取り組みに期待する旨の意見が交され成功裡に閉会しました。

日本団体生命は商工会議所の積極的な支援によって発足した会社です。事業の発展に函館商工会議所共済制度をご利用下さい。

- 役員・幹部社員のための高額保障……………大型保障プラン
- 生涯の保障及び経営者の退職金の準備に…終身保障プラン
- 老後の生活保障に……………個人年金プラン

日本団体生命 函館支社

函館市本町 8 番 18 号
日本団体生命函館ビル 4 F ☎55-1777



事務局日誌

10月

* 正副会頭会議

- 5月) 第25回正副会頭会議
- 20日) 第26回正副会頭会議

* 部会

- 12月) 観光サービス部会正副部会長会議
- 21日) 六部会合同幹事会
- 26日) 観光サービス部会幹事会
- 29日) テクノポリス函館計画推進に関する正副会頭と部長との協議

* 委員会

- 13日) 青函圏特別委員会正副委員長会議

* 会議(日商)

- 21日~23日) 平成4年度全国商工会議所経理担当職員研修会
- 22日) 平成4年度特定商工会議所中小企業相談所直面問題会議

* 会議(道商連)

- 6日) 第25回運営委員会
- 〃 第2回会費問題検討会
- 〃 第150回全道商工会議所専務理事・事務局長会議

* 審査会

- 21日) 小企業等経営改善資金審査会

* 諸会議

- 1日) 平成4年度小企業等経営改善資金貸付推薦団体役員連絡協議会
- 6日) 青函圏特別委員会に係る青函両事務局打合せ
- 〃 国際旅客需要開発説明会
- 〃 「北海道ふるさと白樺ビデオ大賞」渡島地区代表選考会
- 8日) 平成4年度小企業等経営改善資金貸付推薦団体経営指導員連絡協議会
- 〃 第6回NTT青函トーク会議(新幹線問題)
- 9日) テクノポリス第二次基金増額に関する三者打合せ
- 〃 財政金融懇談会(主催・北海道財務局)
- 12日) 函館市住居表示審議会
- 13日) フォクソ生命契約者懇談会
- 〃 '92タックスフェア実行委員会
- 14日) 広域商業商店街診断に係る事業専従婦人との懇談会
- 15日) 函館圏企業誘致説明会パネルディスカッション
- 〃 函館市都市景観委員会
- 〃 議員懇談会
- 〃 第27回全国観光土産品公正取引協議会兵庫県大会
- 〃 広域商業商店街診断に係る主要役員との懇談会
- 16日) 全国いか加工業(協)臨時総会、懇親会
- 19日) みなみ北海道広域商工振興連絡協議会常任幹事会
- 〃 小売商業振興ビジョン計画に対するヒヤリング(拓銀総研職員2名来所)
- 20日) 箱館五稜郭祭賛会役員会
- 〃 平成4年度労働保険事務組合研修会
- 〃 所報「ともえ」11月号 No.136編集会議
- 21日) テレトピア指定に関するヒヤリング(道電気通信監理局職員2名来所)
- 〃 湯の川温泉街活性化推進懇談会
- 〃 国際化フォーラム開催に伴う打合せ会議
- 22日) 新技術開発サロン成果発表会(講演・北大工山科教授)
- 〃 中小企業大学校第31期総合診断実習に係る関係機関打合せ会議
- 23日) 青函ツイン複合ネットワーク形成可能性に係る第2ワーキンググループ
- 〃 平成4年度分野調整指導調査員連絡会議
- 27日) 婦人会例会(施設見学)
- 〃 第34回道新フォーラム「新幹線早期実現への展望」

- 28日) 函館市公文書公開審査会
- 〃 函館日米協会、本所共催講演会「アメリカ大統領選の行方とその後の日米関係」講師：キャスリン・リアリイ女士
- 29日) みなみ北海道広域商工振興連絡協議会
- 30日) 平成4年度青森・函館ツインシティ推進協議会部会

* 講習・催物

- 2日) 6日) 9日)
- 13日) 16日) 20日)
- 27日) 30日)
- 4日) (社)日本青年会議所第41回全国会員大会記念講演会
- 5日) 函館の24時間写真展及び「光画箱館」展
- 14日) 経営相談
- 15日) 第38回函館地方児童生徒徒発明くふう展
- 23日) 法律相談
- 24日) 第12回みんなの消費生活展

* 刊行物

所報「ともえ」10月号 No.135

* 相談・診断

金融 173 税務 12 経理 3 経営 35 労働 0
取引 0 その他 12 合計 235

* 貸室

13

* 文書

受信 176 発信 30

* 陳情・要望

- 28日) 地方拠点都市の地域指定の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法律に基づく函館圏の指定に関する陳情

* 検定・大会

- 4日) 第8回1級、第10回2級ワープロ検定試験
- 7日) 第20回2級販売士検定試験
- 25日) ワープロ4級検定試験
- 〃 第136回珠算能力検定試験

* 慶弔・その他

- 1日) 佐藤孝行国会議員・衆議院議員在職25周年記念祝賀会
- 2日) 登別商工会議所創立20周年記念講演会、祝賀会
- 〃 第41回(社)日本青年会議所全国会員大会函館大会
- 〃 常陸宮同妃両殿下歓迎レセプション
- 3日) 第41回(社)日本青年会議所全国会員大会函館大会式典
- 5日) 「函館の24時間」1992写真展開催記念祝賀会
- 〃 別府商工会議所一行44人に伴うウォーターフロント視察
- 6日) ㈱ニューロック創立35周年祝賀パーティー
- 〃 第15回おいでやす大京都まつり一行表敬訪問
- 7日) 第15回おいでやす大京都まつりオープニングセレモニー
- 〃 本所議員村上幸輝氏外務大臣表彰受彰祝賀会
- 〃 (協)函館専門店会新社屋地鎮祭
- 8日) 鹿児島商工会議所創立110周年記念式典、姉妹盟約締結式、祝賀会
- 〃 マレーシア国ダト・カティブ駐日大使表敬訪問
- 10日) 第45回北海道クリーニング業者大会函館大会
- 〃 「スポーツ健康都市宣言」式典
- 11日) 函館ハーフマラソン大会
- 15日) '92渡島地域ニューフロンティア・フェスティバル開会式
- 16日) 函館三菱自動車販売㈱新社屋披露、祝賀会
- 〃 マレーシア国ダト・スリ・マハティール首相一行歓迎晩餐会
- 17日) ダト・スリ・マハティール首相一行市内視察
- 20日) 日本エアシステム星常務他表敬訪問
- 21日) 函館繊維商組合消遊会
- 〃 第5回出羽の庄内鶴岡市観光物産展一行表敬訪問
- 〃 第5回出羽の庄内鶴岡市観光物産展5周年記念祝賀会
- 〃 全国商工会議所経理担当職員研修会懇親会
- 27日) 三菱商事㈱発注撤積貨物船進水式
- 〃 中国国際貿易促進委員会天津分会、中国国際商會天津商會一行(候義副会長)表敬訪問並びに歓迎夕食会
- 〃 日本道路公団函館事務所長中島氏転勤挨拶
- 29日) 第41回(社)日本青年会議所全国会員大会函館大会感謝パーティー
- 30日) ㈱竹田食品新社屋・工場披露及び披露式

生育状況はほぼ平年並み。野菜の出荷価格は、本州産の出荷本格化から此許下落しているが総じて平年並みの水準となっている。

漁業では、近海真イカ漁が渡島を中心に豊漁続きで、魚価は依然前年を大幅に下回っている。また、真コンブ漁は、既に平年並みの水揚げを確保しており、秋サケ漁も渡島を中心に、全体では前年並みの漁獲量であるが、価格は全道的にみて、前年を下回る漁獲となっていることを映じて高めに推移している。

(6) 消費関連

9月中の市内大型小売店（10店）売上は、秋物衣料、家庭用品が引続き不振なほか、これまで比較的好調だった身の回り品も落込んだため、全体では4月以来5カ月振りに前年割れとなった。また、耐久消費財についても、自動車販売では乗用車登録台数が大衆車を中心に引続き前年割れとなったほか、家電販売でも大型高額商品をはじめ全般的に不振を続けており、総じて低調な動き。この間、観光レジャー面をみると、各観光・宿泊施設とも修学旅行等の団体を中心にほぼ前年並みの入

込みをみており、秋口以降も引続き底堅く推移している。

3. 金融事情(9月中)

実質預金は、交付金流入に伴う公金預金の増加等から月中120億円の増加となったが、法人預金を中心に不芳地合いが続いている（前年は、休日要因もあって月中2億円の小幅増となった）。一方、貸出しは、企業等の資金需要に依然として盛上がりが見られず、月中96億円増と前年の96億円増並みの増加に止まった。この間、管内銀行の貸出し約定平均金利は、長・短期プライムレートの引下げを映じ、月中マイナス0.116%と引続き低下した。

銀行券は、行楽資金等の順調な還流から月中95億円と前年の74億円を上回る還収超となった。

財政収支は、租税、保険の受入に加え、資金運用部の定期償還が多額にのぼったため、月中140億円と前年の131億円に比べて大幅超となった。

P・R

ルールを守って 正しい受給を 今月は雇用保険さわやか受給月間です!

雇用保険の失業給付は、労働者が失業した場合、その人の生活を安定させ、早期に再就職できるように支給されるものです。

雇用保険制度を正しく理解し、不正受給をなくすため、皆様のご協力をお願いします。



たとえば、次のような人は失業給付の支給が受けられません!

- ◆ 結婚して家事に専念する人
- ◆ 病気やケガですぐ就職することができない人
- ◆ 定年などにより離職してしばらくの間休養する人
- ◆ 妊娠、出産、育児などにより就職することができない人
- ◆ 会社の役員に就任している人
- ◆ 自営業を開始した場合
- ◆ 家事の手伝いや家業に従事し、就職することができない人
- ◆ 仕事に就いた場合（アルバイト、パートを含む）

お問い合わせは **ハローワーク函館**〈函館公共職業安定所〉

☎26-0735へ



1. 概況

最近の管内経済動向をみると、公共事業の発注が引続き順調に進捗しているほか、観光もほぼ前年並みの入込みを確保しているものの、民間の住宅投資や設備投資が引続き不冴え裡に推移、消費関連需要も全般的に減勢を辿っているため、全体の経済活動は依然緩やかに減速している。

製造業では、セメントがフル生産を行っているほか、造船、電子部品が高操業を持續、一般機械でも足許国内需要は鈍化しつつあるものの、高めの受注残等を背景にまずまずの生産水準を維持。これに対し、木材・木製品は住宅投資の回復の遅れから、また水産加工、乳製品は消費需要の鈍化から、いずれも低調な生産を行っている。さらに、非製造業では、市内大型小売店の売上が前年を下回ったほか、乗用車、家電等耐久消費財の販売も依然低迷しており、個人消費の鈍化傾向が鮮明化しつつある。

この間、観光については、修学旅行等の団体を中心にほぼ前年並みの入込みを確保している。

農業では、水稻の作柄がやや不良となったが、野菜はほぼ前年並みの生育状況。漁業では、近海真イカ漁の豊漁が続いているほか、真コンブ漁も前年並みの水揚げを確保、秋サケ漁では、前年並みの漁獲量となっているが、魚価は強含みで推移している。

こうしたなか、管内主要5官庁の公共事業発注進捗率は、補正予算編成を前に上期前倒しに拍車がかかったことから、9月末86.6%と、今年度初めて前年の81.5%を上回った。

9月の金融動向をみると、預金、貸出しとも景気減速等を背景に依然低調裡に推移。この間、管内銀行の貸出し約定平均金利は、長・短期プライムレートの引下げを映じ引続き低下した。

2. 主要業種別動向

(1) 機械

半導体では、先行き需要鈍化の懸念はあるものの、米国向け輸出を中心に高水準の生産を持續しているほか、水晶振動子でも依然高めの生産を続けている。一般機械では、水産加工関連が国内需要不振から全体では引続き不冴えながら、製缶関連では高水準の受注残を背景に、また、合板関連でも足許新製品の引合い増加等から、いずれもまずまずの生産を維持。この間、造船は、修繕船、陸上機械ともに受注が低迷しているが、新造船建造を主体に総じてみれば高操業を維持。

(2) 食料品

水産加工では、問屋筋の買注文小口化が続くなどの需要の鈍化が窺われるほか、乳製品の売上も飲用乳の不振等から前年割れ。また、飼料・魚油の売上も依然前年を下回っている。

(3) その他製造業

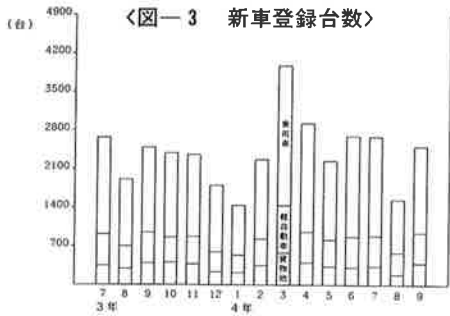
セメントは、東南アジア向け輸出を主体にフル生産を行っており、段ボールも、青果物、水産物の引合い増加等から生産・出荷ともにまずまずの水準。一方、合板は、新設住宅着工回復の足取りが遅く、需要は低迷しており、漁網の生産も引続き不冴え裡に推移。

(4) 建設関連

管内主要5官庁の公共事業発注状況は、引続き順調(4年度発注額累計9月末前年比プラス19.4%)。一方、民需は、市内新設住宅着工戸数が再び前年割れとなったほか、民間設備投資の減少から、建設業者の受注は引続き低調裡に推移。

(5) 農・漁業

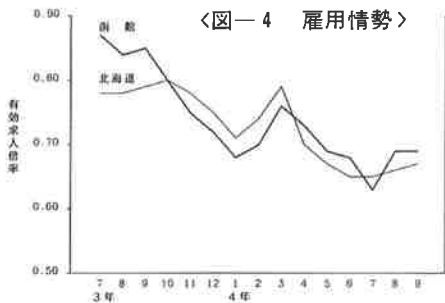
農業では、収穫のほぼ終了した水稻の作柄が「やや不良」となったが、野菜等その他の



4. 雇用情勢

第2四半期の函館職業安定所管内の雇用情勢は、月平均有効求職者数が6,056人で前年同期に比べ5.4%の増加、月平均有効求人数は4,054人で同17.3%減少し、有効求人倍率は前年同期を0.18ポイント下回る0.67倍となり、労働需給は緩和傾向にある。

(常用・パート分含む)

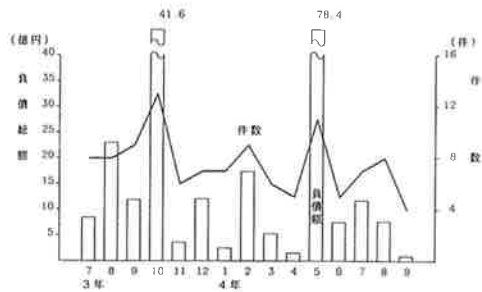


5. 企業倒産状況

第2四半期の管内企業倒産(負債額1,000万円以上、内整理を含む)は、19件で高水準の前年同期より6件の減少となり、負債総額は、20億3,300万円、同22億9,800万円の減少となった。

業種別では、製造業4件・16億2,000万円、建設業3件・5,300万円、小売業5件・1億円、飲食業2件・5,000万円、その他5件・2億1,000万円となっている。

〈図-5 企業倒産状況〉



函館市内、第一種大規模小売店舗売上高<10店>

平成4年9月

品名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	3,018,750	125.1	97.8
身の回り品	635,889	97.8	95.3
雑貨	746,906	100.3	101.4
家庭用品	693,447	104.7	93.0
食料品	1,739,167	78.4	103.4
食堂・喫茶	155,224	76.6	99.2
サービス	105,551	102.6	91.9
その他	465,733	94.3	103.2
総計	7,560,667	101.0	99.0

<10店>棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ダイエー五稜郭、テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ダイエー湯川店の各店

統計資料

函館地域の 経済動向

平成4年度 第2四半期

平成4年度第2四半期の函館地域の経済動向は、夏場観光が個人ツアー客を中心に、高水準の前年並みの入込みとなっている他、公共工事の発注も順調に進捗しているが、建築関連では、貸家、分譲住宅が依然前年を下回って推移しており、個人消費面も新車登録台数、大型店売上高とも純化傾向が続いている。一方、雇用情勢でも求人数の減少から、有効求人倍率の低下がみられるなど、総じて緩やかな減速過程にある。

1. 公共事業発注状況

平成4年度第2四半期迄の総体の発注額は、793億9,600万円で前年同期に比べて134億2,500万円、20.3%の大幅増で発注率は86.7%となった。

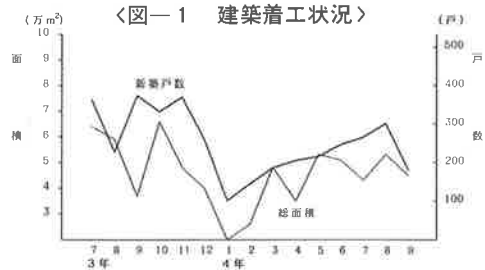
機関別にみると、函館開発建設部が発注額339億7,000万円、発注率87.0%で前年同期に比べ24億6,900万円の増加。函館土木現業所では発注額249億7,200万円、発注率87.2%で前年同期を5億3,900万円上回る実績。函館市でも発注額204億5,400万円、発注率80.1%で前年同期より104億1,700万円の増加と、高い伸びを示しており、順調な執行が続いている。

2. 建築着工状況

第2四半期の函館市内建築着工状況は、建築物床面積合計が140,930㎡で、前年同期に比べて11.9%の減少、うち住宅部分床面積は89,285㎡で同8.5%の減少となった。

住宅総戸数は818戸で同22.1%の減少、うち増改築は68戸、同15.0%の減、新築住宅も

750戸、同22.7%の減で、この内訳は持ち家341戸（前年同期比2.4%増）、貸家338戸（同16.1%減）、分譲63戸（同63.2%減）、給与住宅8戸（同87.3%減）と依然低調に推移した。

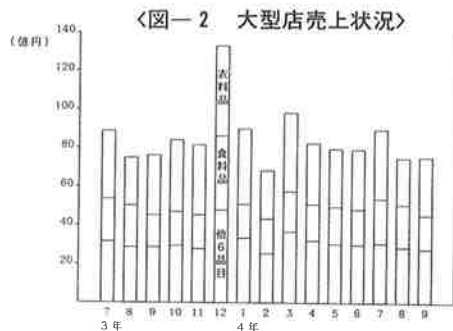


3. 個人消費

①大型店売上高

第1四半期の市内第一種大型店売上高（二トリ家具を除く10店舗、消費税分除く）は、総額で239億8,379万円で、前年同期比では増減なしにとどまり、盛上りを欠いている。

品目別では、食料品が62億5,650万円で、前年同期比3.5%増、身の回り品20億1,104万円、同1.6%増、サービス3億2,218万円、同2.0%増となっているが、衣料品89億8,955万円、同0.3%減、雑貨22億3,770万円、同0.9%減、家庭用品21億3,027万円、同2.0%減等となっている。



②新車登録台数

第2四半期の管内新車登録台数は、6,737台で前年同期に比べ4.9%の減少と、低迷状態が続いている。

車種別では、乗用自動車が4,318台で4.3%減、貨物・その他が929台で同10.2%減、軽自動車も1,490台で同2.8%減と、いずれも前年割れとなっている。